

謎の食肉の正体を DNA 鑑定で調べよう

日時：令和5年11月11日（土）13：00～16：00

場所：千葉市科学館8階科学実験室 A

参加者：17名

講師：かずさDNA研究所 平岡 桐子先生、かずさDNA研究所の先生方



講師の平岡先生



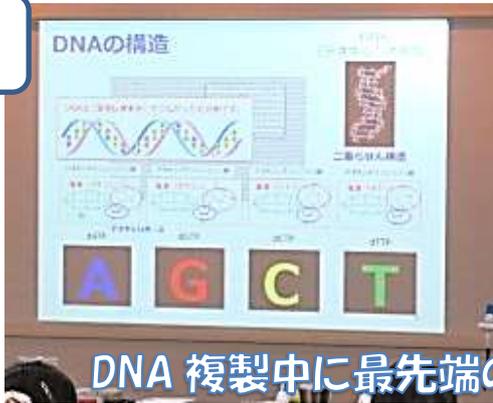
謎の食肉の正体を PCR 法で調べてみましょう！



ブタ・トリ・ウシの DNA を複製する薬品に検体を入れていきます



PCR 装置に入れ、DNA を複製します。



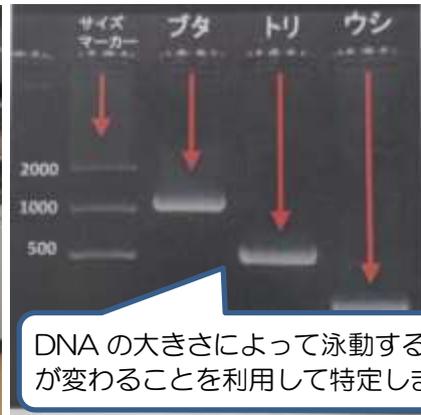
DNA 複製中に最先端の研究について学びました



DNA を人工的に合成した微生物も作られています。



複製した DNA を電気泳動で確認します



DNA の大きさによって泳動する距離が変わることを利用して特定します。



これはトリですか？

【受講生の感想】

- 謎のお肉の正体をどうやって調べるのかなと思いつつと楽しみにしていました。いざやってみるとマイクロピペットの使い方や細かな作業を繰り返して DNA を鑑定することがわかりました。たくさん興味をもったこともあったのでもっと詳しく知りたいと思いました。
- PCR 検査の仕組みがよく分かって楽しかったです。DNA を複製する技術は、思いついて開発した人すごすぎると思いました。理解したかはわからない(しきれてないかも)ですがわかりやすく楽しかったです。個人的にはまさかの結果(全部入り)、だったこと、キムワイブを使ってみたことが楽しかったです。
- 新型コロナウイルスの検査方法がわかりました。初めて見る、使う、知る物が多くて楽しかったです。DNA について今までより詳しく知ることができました。これからも不思議に思ったことを沢山調べて知識を増やしたいです。
- DNA の話をたくさん聞いて、PCR についても知ることができてとても楽しめました。偶然だと思いますが、実験前に予想していた「ブタかな？」というのが当たっていて、嬉しかったです。又クレオチドや A-T G-C の話も聞けました。人間の DNA を記した本もまたじっくり見てみたいです。DNA の話は奥が深くて是非もっと知っていきたいです。今日はありがとうございました。
- 社会の授業で DNA の組み換え製品はアメリカに多いと教わっていたので、別の国では主にどんなものを組み替えているのか調べてみたいです。また、これからの微生物の遺伝子組み換えにも注目していきたいです。
- DNA のことは昔から興味をもっていて DNA 鑑定をする機会がこれまでなかったのですが、今日このような体験ができてとてもうれしいです。今後も未来の科学者育成プログラムに参加していきたいです。